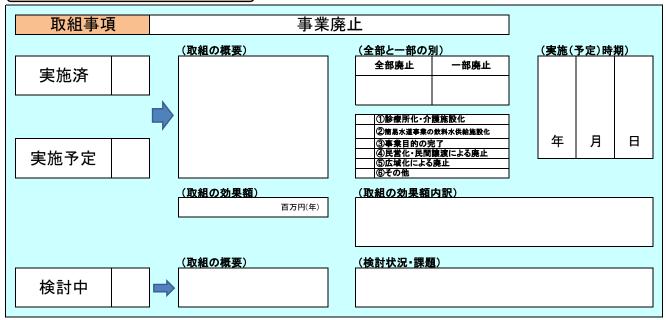
公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
五泉市	下水道事業	公共下水道	

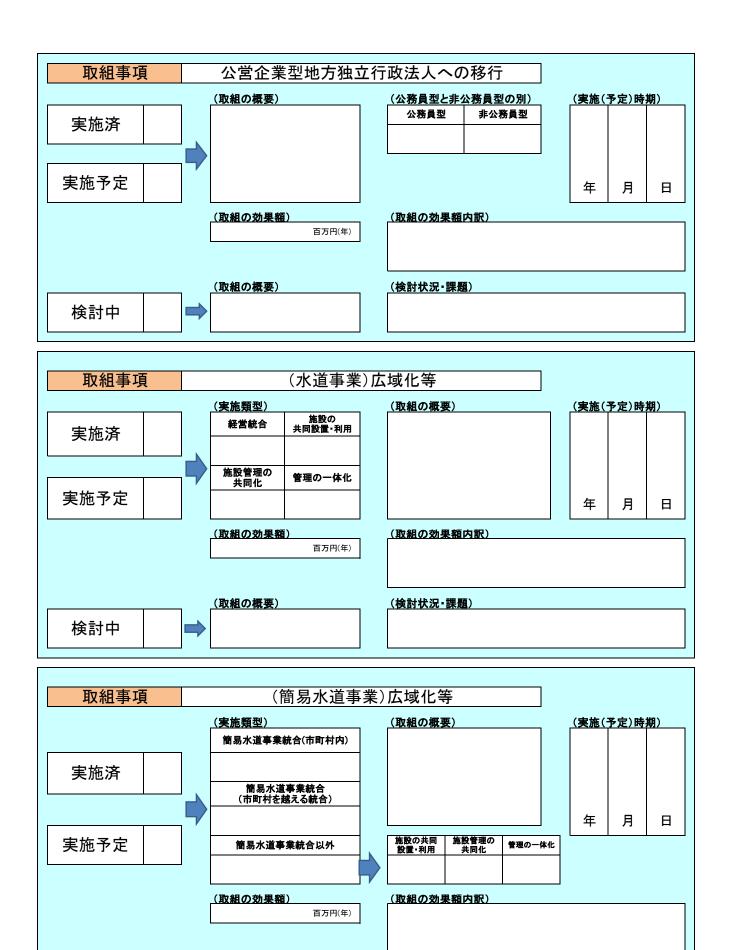
実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止 民営化・		地方独立 行政法人	広域化等	民間活用			現行の経営
	民間譲渡	への移行	四条旧书	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	体制を継続
							•
	<u> </u>		<u> </u>	<u>l</u>	<u> </u>	<u>l</u>	

抜本的な改革の取組状況



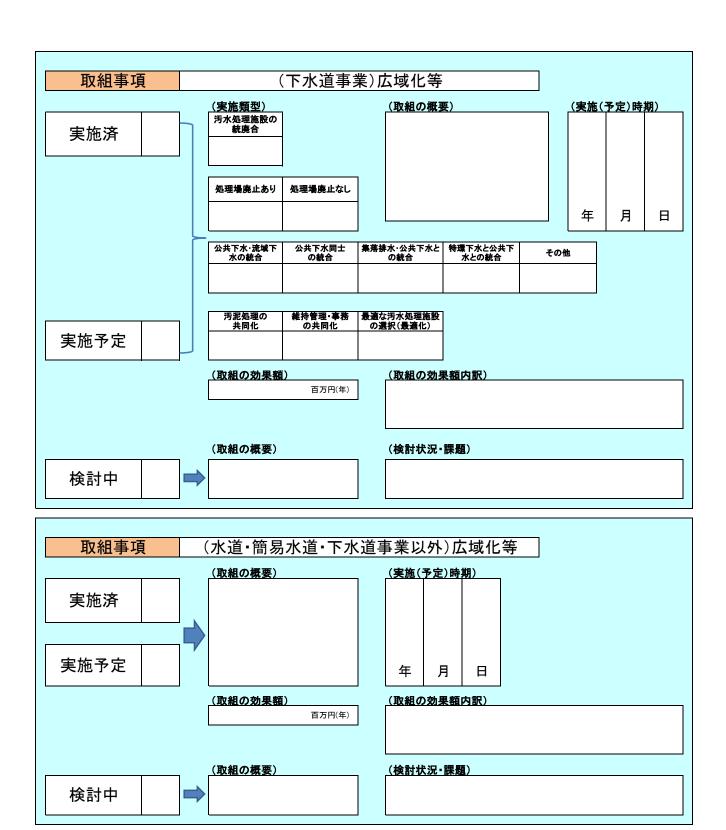
取組事項		民営化・民間譲渡						
	_	(取組の概要)		(全部と一部の別)		(実施(予定)時	期)
実施済				全部民営化・ 一部民営化・ 一部民間譲渡				
実施予定						年	月	日
		(取組の効果額)		(取組の効果額内訳)				
		百万円(年)						
	_	(取組の概要)	•	(検討状況・課題)				
検討中								

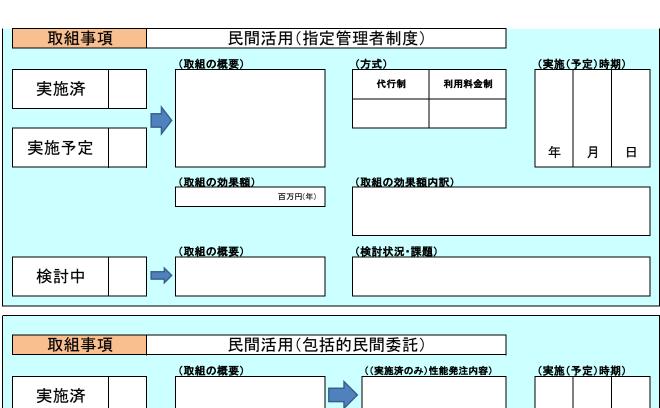


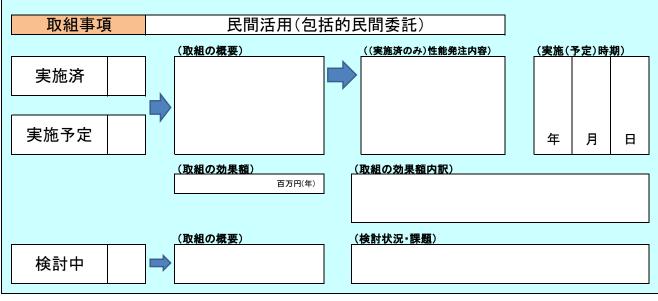
(検討状況・課題)

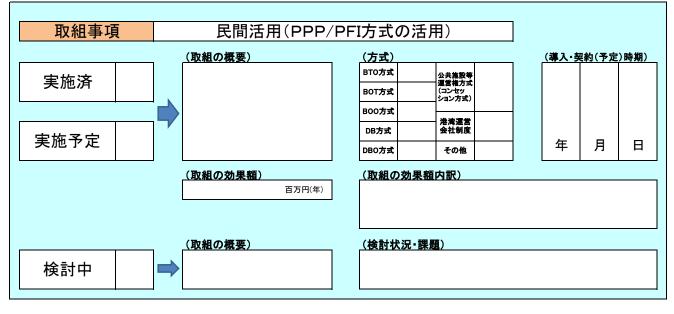
(取組の概要)

検討中









現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における 中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当市では、令和6年度に経営戦略の改定を行いました。抜本的な改革についてはウォーターPPPなどを今後取り組んでいく事項として掲載しましたが、詳細は決定しておらず検討の前段階です。また、単独処理施設は有しておらず、流域下水道の幹線管渠に接続していることからも、暫くは現行体制の継続を見込みます。

下水道事業の経営は、一般会計からの繰入金により収支均衡を図っている現況です。今後人口減少等により下水道使 用料収入の減少が見込まれますが、未接続世帯への訪問など啓発活動の実施により、接続率の向上を図り、収入確保に 努めます。

社会情勢や経営環境の変化、下水道施設の老朽化状況などを踏まえ、経営戦略の改定(5年毎)やストックマネジメント計画に基づく管渠更新を行い、持続可能な経営に取り組みます。